

箱根組ニュース

第313号 2019年新年号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入つて山に登りましょう！

飯能駅から飯能大通り商店街を歩き天覧山に登る。飯能河原でのたき火芋煮会で盛り上がる。

12月16日(日)、西武池袋駅8時5分発の快速急行三峰口行きに乗車。

飯能駅に8時51分着。集合したメンバーと材料の分担は次のようです。

岩岳(しめじ、舞茸)、太田、星野(幸)(長ネギ)、神山(こんにやく)、谷田(めんつゆ)、大野、星野親子(うどん)、川名夫人(長ネギ)、有倉(焼き豆腐)、菊池(ごぼう)、坂巻(牛肉)、和田(里芋)、及川、神吉(里芋)、戸丸(サツマイモ)の16名。

9時5分、改札前を出発。駅の一階に下りて駅前を北に向かってバス通りをすすむ。両側に店が並ぶ大通りだ。

9時11分、東町交差点、右に行けば東飯能。真つすぐは小鹿野、秩父方面。ここを左折。飯能大通り商店街だ。蔵や古いお店もある風情のある昔ながらの商店街。

9時17分、JAいるま野。左側に飯能小町公園。その先に創業明治8年の吉田屋呉服店。右には古い立派な二階建ての瓦屋根の建物、立派な破風が左右についている。

9時20分、左に高札場跡の看板。

9時25分、飯能河原交差点。突き当りになっていて正面は飯能中央公民館。建物の一階が抜けていて河原が見える。飯能河原の展望地になっている。目的地の河原が良く見える。

突き当りを右方向、北に歩道を進む。信号を渡ると左側は立派な観音寺。

9時35分、左側の民家の屋根の手前に風見鶏が設置されている。と、その屋根の反対端に大きな白い鳥がいる。シラサギだ。風見鶏とシラサギが家を守っているような面白い光景だ。

9時40分、左に山道が現れる。入り口は茶畑と梅と桃の畑だ。入り口の広いところで体操をする。すると音もなく軽のトラックがやってきた。山道に入っていくのかと思ったらこの空き地に停めるようだ。電気自動車のトラックだった。農家の方で、お茶の手入れはすでに終わって今日のは畑に肥料をやるそうだ。これからの作業は梅の枝切りと桃の手入れだそうだ。桃の花の時期はとてもきれいだそうだ。



9時54分、出発。茶畑の横を進んで飯能西武の森に入ってゆく。すぐに風情のある林になる。焚火の焚きつけ用に細い枝を少し拾いながら歩く。

10時3分、分岐点。右は多峯主山方面、左、天覧山。我々は奥武蔵自然歩道を歩いていて、巾着田、宮沢湖方面からアプローチしていることになる。

すぐに十字路の分岐点。左は飯能駅近道、右は見返り坂、天覧入り谷津田方面。真つすぐ階段状の道を登る。

10時13分、あつという間に天覧山

大野さんより3000円頂きました。芋煮の残金900円を入金しました。

27945円
3900円
408円
1000円
400円
30037円

現在の収支
繰越入金
支出
写真袋
印刷費
コピー代
現在高

切手残数
82円切手
40円切手
205枚
131枚

山頂（197m）。雲が広がっているが、東京方面スカイツリーや高層ビル群が見えている。これから向かう眼下の河原も見えている。近所の人にはいい散歩コースのようだが、山頂の景色を楽しんでいる。メンバーも景色を楽しみな

がら話に盛り上がっているようだ。16名で集合写真を撮る。

10時26分、下山開始。

多峯主山方面の西側に下りて行く。ドウダンツツジだろうか左側の道沿いが真つ赤に紅葉している。右にある東屋を見ながら落ち葉の積もる道を下りて行く。

10時35分、平たん地に下りる。ここを左に曲がる。

（実はここを右に多峯主山方面に行つて5分ほど里山を歩いてから左に曲がる予定だったが、勘違いして早めに左に進んでしまった。）

というわけで里山を歩く時間が少し短くなつてしまった。突き当りの大通りを右に曲がり道なりに左にカーブして少し歩いて予定のコースのバス通りを左に曲がる。

11時、通りの右側の「Woody けやけや」と看板がある吉田堅木商店に到着。あらかじめ調べておいた薪を調達する店だ。1束200円の薪を二束購入。

2019年の幕開けは1月20日（日）
扇山（1137.8m）から富士を仰ぎます。

レギュラーコース 歩行4時間5分

鳥沢駅から歩き、北側からアプローチ、下山は南側から鳥沢駅に戻ります。

※用心のため軽アイゼンをお持ちください。

○持ち物 お弁当、飲料水、軽アイゼン、非常食、雨具、傘、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ（予備電池）、地図、筆記用具、救急薬品、（痛み止めスプレーなど）、健康保険証、ビニール袋、ちり紙（ロールペーパー）、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは1月18日（金）までに

集合 1月20日（日）
京王線新宿駅 6:57発
特急高尾山口行き（前から3両目）

途中駅発
明大前 7:03 調布 7:12 府中 7:18
分倍河原 7:20 聖蹟桜ヶ丘 7:23
高幡不動 7:26 北野 7:33 めじろ台 7:37

高尾 7:40着（JR乗換）
7:47発 河口湖行き 鳥沢 8:20着

●交通費 新宿～鳥沢（片道860円）

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/

11時5分発。すぐ先の道を右に曲がると岩根橋、これを渡り突き当りを左折する。住宅地の突き当り手前を右に曲がると赤い橋に出る。橋の右側を降りていくと懐かしい飯能河原だ。

11時20分到着。

20数年前からよく来ていた河原は、勝手知ったる場所、だが違うことがある、当時と違ってたき火をじかに出来ないことだ。そのため昨年から焚火台というものを用意した。（たき火を始めると早速係の人が様子を見にやってきたが焚火台を見るとなるほどという感じで帰っていった。対応は坂巻さんがお手の物）



20数年前と同じ通り、水場（トイレ）の近くの河原に陣取ることにする。芋煮の鍋の位置を決め、その隣に焚火の場所を決定。レジャーシートを広げ各々座る場所を確保する。と言っても他にほとんど人はいないので場所確保には苦労しない。

芋煮班は神吉さんを中心に準備を進める。慣れているのでお任せで大丈夫だ。焚火の好きな戸丸は当然たき火班。焚火がやりたいがために来ているようなものだ。

ステンレスの焚火台を広げて網の上に濡れた新聞紙とアルミホイルに包んだ焼き芋用のサツマイモを17個並べる。その上に細長くひねった紙と細い枝を乗せて火をつける。火はすぐについて大きめの薪を乗せればあつという間に焚火の完成だ。

メインテーブル代わりのシートには持ち寄りのごちそうが並べられ各々好きな飲み物で乾杯する。ワイン、熱燗などどんどん進んでいるようだ。熱燗の係は川名夫人。芋煮もおいしく出来上がりみんなの話も盛り上がる。焚火も絶好調でたき火の周りにみんなが集まってくる。

鍋の仕上げは芋煮うどんだ。芋煮の具が少なくなつたところでうどんを入れ

て温める。これまた絶品だ。

焼き芋も少し焦げているがとても美味しく出来上がった。

たき火も終わりに近づきすべての薪を燃やし尽くした。最後は落ち葉をかき集めて燃やしてはたき火を楽しんだ。名残惜しいが最後はしつかり消火して水をかけて確認して撤収。

2時25分、飯能河原に別れを告げ出発。赤い橋を渡り2時50分、飯能駅に到着。西武電車の車内で熟睡。



